

鏡野町交通安全法令講習会のお知らせ

9月21日から30日まで「秋の交通安全県民運動」が実施されましたが、引き続き、交通事故を防止し、安全意識を高めていただくため、左記のとおり交通安全法令講習会を開催します。みなさんの受講をお待ちしております。

日 程	時 間	地 区 名	会 場 名
10月9日(火)	19時～20時30分	久田・泉	泉公民館
10月10日(水)		羽出	羽出公民館
10月12日(金)		奥津	奥津公民館
10月16日(火)		中谷	中谷公民館
10月17日(水)		香南	香南公民館
10月18日(木)	19時30分～21時	郷	郷公民館
10月19日(金)		小田	小田公民館
10月23日(火)		芳野	芳野公民館
10月24日(水)		大野	大野公民館
10月30日(火)		香北	香北公民館
10月31日(水)	19時～20時30分	富	富公民館
11月1日(木)	18時～19時30分	上齋原	上齋原文化センター

○実施内容…講演・ビデオ視聴等
○講 師…津山警察署 交通課
○その他…講習カードをお持ちの方はご持参ください。

お問い合わせ先

鏡野町くらし安全課 電話 (0868) 54-2780
奥津振興センター 電話 (0868) 52-2211
上齋原振興センター 電話 (0868) 44-2111
富振興センター 電話 (0867) 57-2111

館長のガラストーク



有松啓介
「花器氷壁」



岡本常秀
「舞華金彩夜譜燈」

妖精の森ガラス美術館では9月19日から、「岡山のガラス作家たちPart.2“さまざまな意匠”展」を開催しています。これは昨年開催した「岡山のガラス作家たちPart.1」を引き継ぐもので、県内で活躍する有松啓介、岡本常秀、香川三枝子、紺藤隆一、田邊茉莉子、松島巖、三垣祥太郎、矢野太昭、若林克昌という9人の作家を取り上げ、その代表作を通して創造の原点をたどろうとする試みです。

これらの作家たちはガラスを素材として、独自の素材観や技法論、造形論を組み合わせ、それぞれ独創的な“意匠”に基づいて造形活動を行っています。例えば有松啓介は、ガラスの素材を生かしながら季節に合わせた器やオブジェを手がけ、そこに日本的な感性や生活の豊かさを盛り込んでいます。岡本常秀は花器やランプ、さまざまな器などによって、ガラスの透明性を抑制しながら、日本の伝統的な美意識である「雅」や「華」の表現を試みています。

作家たちが展開する、ガラスならではの多彩な造形表現をお楽しみ下さい。

妖精の森ガラス美術館 館長 畠山 耕造

<展覧会情報> 「岡山のガラス作家たちPart.2“さまざまな意匠”展
2012年9月19日(水)～2013年4月1日(月)

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話 (0868) 44-7888